

# 長船と火縄銃

## 種子島に伝来以来

**300年間生産・使用**  
日本の火縄銃は天文12(1543)年に種子島に伝来して以来、ほぼ同じ形状、仕組みのまま、約300年間にわたり生産され、使用されてきました。

中でも有名な「長篠の戦



びぜんおさふね名刀まつりで行われた、岡山城鉄砲隊の火縄銃発砲披露

い」では、織田・徳川軍が3千丁もの鉄砲を使い、日本最強と恐れられていた武田の騎馬軍を破ったのが、鉄砲伝来から32年後のこと。さらに、関が原の戦い(1600年)などを経て、江戸時代になったころには、実に20万丁の鉄砲が配備さ

れていたといわれています。以後江戸末期まで改良を加えながら生産され続けます。ただ残念なことに、江戸時代以前の鉄砲はあまり多く残っていません。それは、射撃後、銃身を洗浄しないと、火薬に含まれる硫黄などが内側をもろくし、使用に耐えられなくなってしまうため、防衛のため、最新式を配備する必要からか姿を消してしまいました。

中でも、日本の砲術を代表する稲富流の銃は、現在全国で7丁ほどしか確認されていなくといわれ、このたび、そのうちの1丁をお借りし、備前長船刀剣博物館にて展示しています。

**備前国は全国区の有名な鉄砲生産地のひとつ**  
現在、備前長船刀剣博物館にて「甦った赤羽刀と火縄銃」と題して企画展を開

催しています。なぜ、火縄銃の展示かといいますが、火縄銃の生産地として、この備前国は全国区の有名な鉄砲生産地の一つなのです。しかも長船の刀鍛冶が鉄砲鍛冶へ転身し、さらには隣国に鉄砲鍛冶指導に出掛けるほどの名工もいたというのです。

このたびは火縄銃についての初級者編ということで、製作された場所、つまり「生産地」による分類と射撃方法などを考案、伝授した砲術家の「流派」による分類とを中心に展示しています。さまざま鉄砲の部品に、その生産地・流派の特徴があり、解説を付けて展示しています。

1階には火縄銃18丁、2階には22振りの赤羽刀を展示しています。2階の赤羽刀は、備前刀ばかりを展示し、古くは750年前に製作されたものから150年ほど前に作られたものまでを、年代順に展示しています。



企画展「甦った赤羽刀と火縄銃」会場

皆さん、是非一度ご覧になってください。

**企画展**  
「甦った赤羽刀と火縄銃」  
●会期 3月31日まで  
●場所 備前長船刀剣博物館  
●問い合わせ先 備前長船刀剣博物館  
☎0869-66-7767

〈参考文献〉  
澤田 平 1995 『日本の古銃 総論編』 須川薫雄 1989 『日本の火縄銃1・2』

# ジャンプ ステップ ホップ

このコーナーは、生涯学習や生涯スポーツに生き生きと取り組む皆さんを紹介し、皆さんも仲間入りしませんか。

## 作品が生活に潤い

### 手描友禅クラブ

手描友禅のセーターやエプロン姿で作業する手描友禅クラブの皆さん。

先生が描いてくれた下絵の中から好きなものを選び、屏風や掛け軸などの大作やエプロン、風呂敷、Tシャツ、テーブルセンターなどに模様を描きます。

手描友禅の顔料を薄めて混ぜ合わせ、ほかしたしたり、金網の上からタワシでこすったりして色を付けます。1作品を、簡単なものなら1日で仕上げることもできますが、大作ともなる



井上先生を囲んで指導をおおぎます

と1年がかりだとか。

「友禅の魅力は、素材を問わず、季節の花やいろいろなものができること」と、代表の佐藤千恵子さん。

「高いところを見ず、日ごろ使って楽しいもの、生活に潤いを与えるものを作って楽しむことが1番」と話す講師の井上令子さんの言葉どおり、クラブ員の皆さんは心豊かに作品づくり。

「出来上がったときの喜びは大きいし、プレゼントしても喜ばれるし、楽しいですよ」。61歳の還暦から始め、20年以上になる人、昭和60年のクラブ発足時から頑張っている人などが、生き生きと取り組んでいます。「発表の場があるのは励みになる」。年2回の発表に向けて力が入る皆さんでした。

- ★活動日時 第1・3土曜日 午前9時30分～午後2時
- ★活動場所 邑久町公民館
- ★会費 月2,000円
- ★代表 佐藤千恵子さん

☎0869-122-10307

## 野球好きな子・集まれ～

### 牛窓シーファイターズ

潮風が通り抜ける牛窓東小学校グラウンドで、軟式野球の練習に励む牛窓シーファイターズの皆さん。練習日は朝9時集合。ランニング、体操、ダッシュ、キャッチボール、その日の目標練習と1日の練習メニューを次々にこなします。

現在の会員は24人。野球が好きで集まった小学1～6年生は、みな真剣にそして楽しそうに練習しています。「礼儀正しく、根性を養い、みんなで協力してやろう」がチームのモットー。「問題が発生しても、その一つの



チームワークはどこにも負けない牛窓シーファイターズの皆さん



バント練習する表情も真剣です

問題にみんなで取り組み考える。チームワークはどこにも負けません」と松尾健児監督は話します。年間に公式戦7大会、招待試合5回、月2、3回の練習試合。学校行事やその他行事があるときは、そちらを優先し、試合日程を変更する場合があります。

1～3年生のルーキーリーグを作り、1年生からでも試合に出られるようにして、野球の楽しさを学びます。「声を出して、がっちり守れるチームにしたい」と抱負を語るキャプテンの竹内港君(12歳・牛窓町牛窓)。野球の好きな子、一緒に野球をしませんか? ただ今団員募集中です。

- ★活動日時 土・日曜日 祝日 午前9時～午後4時
- ★活動場所 牛窓東小学校グラウンド
- ★会費 月1,000円
- ★代表 松尾健児さん

☎0869-134-12697